

「JENESYS2.0」

中国林業関係者代表团

訪問日程 平成26年12月8日（月）～12月12日（金）

1 プログラム概要

中国国家林業局が派遣した中国林業関係者代表团計34名が、12月8日から12月12日までの4泊5日の日程で来日しました。（団長：魏鴻（ギ・コウ）中国国家林業局・機関服務局処長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、代表团は、日本の林業に関する視察・参観や交流などの場を通じて、林業関係者や行政関係者との親睦を深めたほか、日本の社会・歴史・文化等が体感できるような施設や、地方都市の参観を通じて、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

12月8日（月）

成田空港着、東京タワー見学、オリエンテーション・歓迎会

12月9日（火）

皇居・二重橋見学、林野庁表敬訪問・交流、京都府へ移動、清水寺見学

12月10日（水）

京都北山丸太生産協同組合訪問・交流、金閣寺・嵐山見学、兵庫県へ移動、和風温泉旅館で日本文化体験

12月11日（木）

近畿中国森林管理局兵庫森林管理署清水坂国有林（兵庫県加古川市）視察、商業施設視察、大阪府へ移動、歓送報告会

12月12日（金）

大阪城見学、関西空港より帰国

3 写真

	
<p>12月8日 歓迎会 島田丈裕外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第二課長の挨拶(東京都)</p>	<p>12月9日 皇居・二重橋見学(東京都)</p>
<p>12月8日 歓迎会 島田丈裕外務省アジア大洋州局中国・蒙古第二課長致辞(東京都)</p>	<p>12月9日 参观皇居・二重桥(東京都)</p>
	
<p>12月9日 林野庁表敬訪問・交流(東京都)</p>	<p>12月9日 林野庁 団員が日本の林業の現状について質問(東京都)</p>
<p>12月9日 拜访林野庁，进行交流(東京都)</p>	<p>12月9日 林野庁 团员就日本的林业现状进行提问(東京都)</p>
	
<p>12月9日 清水寺見学(京都府)</p>	<p>12月10日 京都北山丸太生産協同組合訪問・交流(京都府)</p>
<p>12月9日 参观清水寺(京都府)</p>	<p>12月10日 访问京都北山圆木生产合作社，进行交流(京都府)</p>

	
<p>12月10日 京都北山丸太生産協同組合 北山杉枝打ち実演の見学（京都府）</p>	<p>12月10日 金閣寺見学（京都府）</p>
<p>12月10日 在京都北山圆木生产合作社 参观修剪树枝演示（京都府）</p>	<p>12月10日 参观金阁寺（京都府）</p>
	
<p>12月10日 嵐山 周恩来総理の詩碑を見学 （京都府）</p>	<p>12月11日 近畿中国森林管理局兵庫県森林管理署清水坂国有林視察（兵庫県）</p>
<p>12月10日 参观岚山和周恩来总理诗碑 （京都府）</p>	<p>12月11日 考察近畿中国森林管理局兵庫森林管理署清水坂国有林（兵庫県）</p>
	
<p>12月11日 近畿中国森林管理局兵庫県森林管理署清水坂国有林視察（兵庫県）</p>	<p>12月11日 歓送報告会 訪日成果報告 （大阪府）</p>
<p>12月11日 考察近畿中国森林管理局兵庫森林管理署清水坂国有林（兵庫県）</p>	<p>12月11日 欢送报告会上团员介绍访日活动成果（大阪府）</p>

	
<p>12月11日 歓送報告会 魏鴻団長(右)から王昆日中友好会館理事(左)に記念品贈呈(大阪府)</p>	<p>12月12日 大阪城見学(大阪府)</p>
<p>12月11日 欢送报告会 魏鴻団長(右)向王昆日中友好会館理事(左)贈送紀念品(大阪府)</p>	<p>12月12日 参观大阪城(大阪府)</p>

4 参加者の感想(抜粋)

○ 今回の訪問で、日本の林業政策や、日本人の森林や自然に対する畏敬の念、林業についての進んだ考え方や技術などを知ることができた。なかでも、一番印象的だったのは、日本人が優れたマナーと一般的教養を身につけていることで、林業の従事者たちが全力で仕事に打ち込む姿やその専門技術の高さに、目の前がパッと開けた気がした。そして、受け入れ側スタッフの温かく丁寧なもてなしや周到な仕事ぶりも、私たちは参考にすべきだと思った。

帰国したら、次のような点を友人、同僚、家族に伝えたいと思う。

1. 日本の街は清潔で、自然環境がとても良い。
2. 国民は高い一般的教養を身につけている。
3. 日本の文化・伝統は中国と極めて似ており、一衣帯水の国であると感じた。経済や科学技術のレベルも非常に高い。
4. 日本人の仕事ぶりは真面目で丁寧。非常にもてなし好きである。

もちろん、数日間という短い期間で日本を理解するには限界がある。中日両国の文化と友情を伝えていくため、今後また機会があれば、再び日本を訪れて、さらに理解を深めたいと心から願っている。

○ 日本に来る前、日本に対する理解は不十分で、歴史、文化、環境、経済発展についてもボンヤリとした認識しか持っていなかった。数日間の視察を通して、ある程度日本の歴史や文化を知ることができ、また、中日両国には類似した歴史的、文化的起源を持つものがあることに気がついた。今回の訪問で最も印象深かったのは、風光明媚な自然環境だ。都市・田舎問わず道路は清潔で、空気もすがすがしく、青い空と白い雲が美しい。東京、大阪など高層ビルが立ち並ぶ国際都市にも木々が植えられ、冬でも青々と生い茂っているものもある。年輪を重ねた松の木、黄色い葉をつけた銀杏の木、街の中にある古刹がマッチし、人と自然がここでは一体となって調和しているこ

とをはっきりと表している。その様子は、中国に帰ることを忘れそうになるほど私を魅了した。また、日本人は礼儀正しく、とても優しい。

専門分野に関しては、日本の林業の生産状況について全体的に理解することができた。京都北山丸太生産協同組合や清水坂国有林の復旧事業の視察では、現場を直に見ることで日本の林業について確かな実感を得ることができた。中国と日本の林業には共通する問題が数多くある。日本の経験から中国が学ぶべきことがあると思う。

○ この活動に参加する前、日本や日本人に対してははっきりとした認識は持っていなかった。今回の交流を通じて、日本の豊かな歴史や文化、美しい環境、国民の高い一般的教養、とりわけ林業分野の発展を身を持って知ることができた。

今回の訪問で最も印象に残ったのは、日本の林業の細やかな管理体制と従事者の勤勉で責任感ある仕事態度だ。まず、林野庁を訪問し、日本が60年にわたって植樹造林を続けた結果、国土の3分の2を緑化するという驚くべき成果を上げたことを知った。次に、京都北山丸太生産協同組合を視察して、うっそうと茂るスギ林、細かな栽培規則、それから長い年月をかけた手間のかかる枝打ち作業などが強く印象に残った。さらに、兵庫県の清水坂国有林では、山腹崩壊後の復旧工事現場の視察で見た溪流保護工事や治山工事における状況に応じた防護壁（肥料含有）の設置、間伐といった措置が記憶に新しい。

中国に帰ったら、日本の林業の進んだ管理方法と従事者たちの懸命な仕事を伝えたい。中日両国の林業関係者がさらに交流を深め、経験を分かちあうことで、両国の林業の更なる発展を促したいと思う。これからもこうした交流活動が強化され、理解とパートナーシップが深まることを望んでいる。

○ これまで、日本に対する理解は本や漫画、テレビドラマや映画から得ただけのものだった。今回の活動に参加して、実際にそれらをこの目で見る事が出来たことで、日本という国と中国は似ている部分が多く、もっと仲良くすべき国同士だと感じた。日本人の自制的であるところ、秩序を重んじるところが印象に残っている。日本人の生活はストレスがとても大きいと感じた。中国の高齢者は家でゆっくり余生を楽しむが、日本の高齢者の多くは仕事を続けており、とても元気だ。健康維持という視点で中国人は参考にできるだろう。中日両国、特に国民同士は一層交流を盛んにし、わだかまりを消し去り、お互いに理解を深めて、相手の良いところを学び合うことを望んでいる。

日本の林業は素晴らしい成果を上げており、日本の国土の森林被覆率と森林蓄積量は世界トップレベルだ。国民の生態系保護に対する意識も高く、乱伐や国有林の違法伐採などは滅多に起きない。日本に比べ、中国の林業は管理機関の規模が巨大で業務内容も多岐にわたるが、国民の意識という点ではまだ向上の余地がある。森林の管理も相変わらずで、強化すべき部分は多い。中日両国の間で、今後も林業をはじめ、より多くの分野で交流が深まることを望んでいる。東アジア地域の生態系維持を促すと同時に、林業の経済的発展も後押しし、両国民に幸福をもたらすことを願っている。